

あぶない刑事

10.22
全国一斉
公開捜査



オマタセ、ベイバー。イツツ・ショータイム。

madamada **まだまだ** abudeka

あぶない刑事

館ひろし 浅野温子 仲村トオル 柴田恭兵

佐藤隆太 窪塚俊介 ベンガル 山西道広 水川あさみ 原沙知絵 / 木の実ナナ / 小林稔侍

監督/鳥井邦男 脚本/柏原寛司 大川俊道 オープニング・テーマ/オレンジベコ (BMGファンハウス) 挿入歌/柴田恭兵 (フォーライフ) エンディング・テーマ/館ひろし (BMGファンハウス) オリジナルサウンドトラック盤 (BMGファンハウス)
「まだまだ あぶない刑事」製作委員会/東映 日本テレビ 東映ビデオ VAP 製作プロダクション/セントラルアーツ 配給/東映 ©2005「まだまだ あぶない刑事」製作委員会

www.abudeka.jp



黒く、美しく、シャイな2人が、犯人を追って、華麗に舞う!
Gun Bike Car Run Dance Sing Music Fashion
and Love...

女性のハートを打ち抜き、男達をシビレさせた、
タカとユージが帰ってきた!!

1986年10月5日、テレビシリーズとしてスタートした『あぶない刑事』は、ハードボイルドをベースにしながら、コミカルな魅力にも満ちていた。ソリッドな館ひろしがノースタントでバイクアクションを見せたかと思うと、柴田恭兵がジョークをかまししながら、軽快なステップを踏む、日本中の男女が夢中の浅野温子が天真爛漫にはしゃぎ、若さまぶしい仲村トオルがおどけてみせる。そして4人ともマジになれば、刃物の様にあぶない、イイ男、イイ女。骨太な男のドラマを支持する者から、“カワイイ”と感覚でチャンネルを合わせる者まで、時代のすべてを虜に。“あぶデカ”の人気は急上昇した。以降、劇場版5作、テレビシリーズ1作、テレビスペシャル1本を生み、熱烈なファンを中心とした多くの人々に支えられて続けてきた。

そして2005年10月22日、ついに待望の映画最新作『まだまだあぶない刑事』でタカとユージが復活!!



韓国・釜山の間に、二つのロングコートのシルエットが舞う。

サングラス二つだけを残して、爆発と共に横浜の海から消えたタカ(館ひろし)とユージ(柴田恭兵)は、アンダーカヴァーコップとして、世界最大スケールのあぶない事件を追っていた。核爆弾の取引だ。小さい国なら軽くフッ飛ぶその代物が、日本に持ち込まれた……。

7年ぶりの横浜。横浜港署捜査課はナカさん、パパ、谷村、瞳ちゃん、と相変わらず。だがなんとトオル(仲村トオル)が捜査課課長! カオル(浅野温子)が少年課課長! 松村(木の実ナナ)が港署署長! 深町(小林稔侍)が神奈川県警本部長! になっていた。そしてあぶなくない優秀刑事、ITを駆使する水島(佐藤隆太)、ガンマニアの鹿沼(窪塚俊介)、少年課の新人・梨沙(水川あさみ)が、ベテラン達を押しつけてデカイ顔をしていた。

「瞳ちゃんお茶!」と、すっかり課長に収まっているトオルを取調室で絞めたタカとユージは、7年前に逮捕した銀行強盗犯・尾藤が脱獄して大型ライフルで次々と報復している事を知る。タカとユージもターゲットだ。そこへ現れるミステリアスな美女・涼子(原沙知絵)。そんな中、警察庁と内閣調査室は2人を指名手配する。……難事件ほど、あぶないハートは燃える! ユージは華麗に走り、タカはハーレーに跨りショットガンを撃つ! しかし追い詰めた尾藤はすでに死んでおり、持ち込まれた核爆弾は超満員のサッカースタジアムで爆発することが分かる! そこへ、男と金を掲げた紫の影・カオル忍者と梨沙が緊急出動!!

涼子を疑いながらもその身を案じ、大いなる罠と知りながら向かって行くタカとユージ。待ち受ける衝撃の事実! 核爆弾は何処に!? 超満員のサッカースタジアムを巻き込みながら、事件はクライマックスに!

興奮したい人、驚きたい人、シビレたい人、最近いいコトない人は、観に来てみて。未経験者大歓迎。

サングラスを掛け、ニコチンパワー満タンで「行くぜユージ」「OK、タカ!」
まだまだ、あぶない刑事が俺達には必要だ!!

